

日 本 史

日 本 史

第1問 原始～近現代の米を中心とした食糧の歴史に関するA～Cの文章を読み、次の問い(問1～8)に答えよ。

A 日本で^a水稲農耕が始まった頃より、食料が計画的に生産されるようになり、人々の生活も大きく変化した。

律令体制のもとでは稲(米)は副次的な税とされ、主に^アとして各地方の国衙に納入された。律令のもとでは主な税は布など各地の特産品であり、それは平城京跡などから発掘された木簡からうかがうことができる。

しかし律令による税制は、負担を逃れようとする農民の抵抗などから次第に崩れはじめた。^b平安時代の初期には改革も行われたが、平安時代の中頃には国司に税の徴収・納入を請け負わせる体制に変化した。その頃、米は官物として、主要な税になっている。

荘園公領制では、土地からの収益権は職とよばれた。^イの平定後には、新補地頭の得点とすることができる米の量が新補率法で定められた。

問1 空欄^ア・^イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① ^ア—租 ^イ—治承・寿永の乱
- ② ^ア—租 ^イ—承久の乱
- ③ ^ア—調 ^イ—治承・寿永の乱
- ④ ^ア—調 ^イ—承久の乱

問2 下線部^aに関連して、弥生時代の社会について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 貧富の差や身分の差が解消され、集落どうしの戦争は消滅した。
- ② 各地の首長の中には、中国の王朝に使いを派遣するものもいた。
- ③ 米作りに用いられた農具は金属製で、石器は使われなかった。
- ④ 米作りのため、狩猟や採取などは一切行われなくなった。

問3 下線部⑥に関連して、平安時代の初期に行われた改革について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

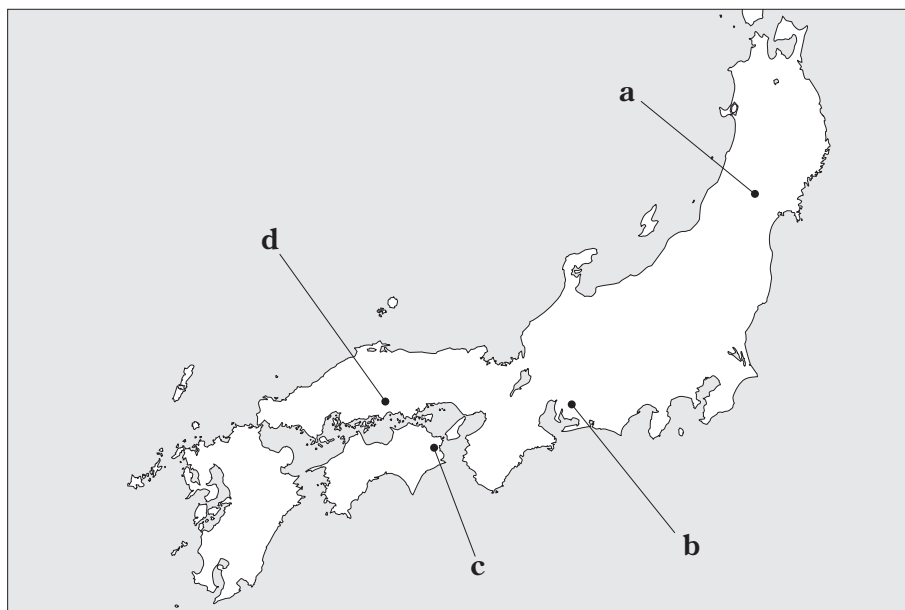
- ① 桓武天皇は12年ごとの班田を6年ごとに改めた。
- ② 桓武天皇は、雑徭の期間を年間30日から60日に延長した。
- ③ 嵯峨天皇は、天皇の機密文書を扱う蔵人頭を設置した。
- ④ 嵯峨天皇の頃、格式を編纂した「延喜格式」が作成された。

B 中世には大陸より大唐米が持ち込まれたり、様々な農業技術の改良が行われたりして、米の生産量は増大した。戦国時代を経て江戸時代になると、それまで培われた築城や治水などの技術が新田開発に転用され、17世紀には全国の耕地面積は飛躍的に拡大した。

全国をつなぐ流通網が形成されると、㉔様々な手工業原料や特産品の生産・販売がさかんになった。その中で米も商品の一つとして扱われるようになり、新田開発の進展などによる生産量の増加によって、米価は次第に下落し、米による俸禄を生活基盤としていた武士は、経済的に困窮するようになった。また、新田開発も限界となり、㉕飢饉の発生などにより、農村内でも没落する百姓が現われ、階層分化が進んだ。

流通においては、各地に在郷商人が成長し、都市商人に対抗しはじめた。江戸の近郊では、江戸の巨大な消費を支えるため「地回り」とよばれる経済圏が形成され、醤油などの他、青物の栽培などもさかんになった。

問4 下線部㉔に関連して、江戸時代に生産がさかんであった特産物について述べた次の文Ⅰ・Ⅱとその場所 **a**～**d** の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4



Ⅰ この地域では、染料を採る紅花の生産がさかんであった。

Ⅱ この地域では、染料を採る藍の生産がさかんであった。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | I - a | Ⅱ - c | ② | I - a | Ⅱ - d |
| ③ | I - b | Ⅱ - c | ④ | I - b | Ⅱ - d |

問5 下線部④に関連して、江戸時代の飢饉や、民衆の様子について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 浅間山の大噴火をきっかけとして、東日本を中心に享保の飢饉が発生した。
- ② 天保の飢饉の際の米価高騰に対し、陽明学者の熊沢蕃山が大坂で乱を起こした。
- ③ 農民の一揆では首謀者の名前を明確にするために、傘連判状が用いられた。
- ④ 都市部では、金融業者や米問屋などの家屋をはかいする打ちこわしが行われた。

C 明治時代になると、政府が積極的に海外文化の摂取に努めたこともあって、⑤民間に西洋風の風習が急速に流入した。明治維新直後は開港場や大都市に限定されていたが、大正時代には都市の民衆も西洋風の食事に触れるようになり、それらは洋食とよばれて人気となった。

近代の日本国内では急激に人口が増加し、特に⑥商工業の発達に伴う都市人口の増加は、米の消費を増大させた。この人口増加を支えたのはアジア各地からの米の輸入（移入）であった。

日本国内の農業は他産業に比べて発展が進まず、地主と小作人の経済格差は大きかった。小作料の引き上げなどをめぐって、小作争議がしばしば行われたが、根本的な解決には至らなかった。⑦第二次世界大戦後になっても、高度経済成長の中で、農業と他産業との所得格差は拡大した。さらに食生活の洋風化が進み、米の消費量が減るなかで、ついに米の作付制限がなされるまでになった。

問6 下線部⑤に関連して、文明開化期の動向について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 中村正直が『学問のすゝめ』を著し、好評となった。
- ② 開港場や銀座などの都市部では、電灯が導入された。
- ③ 活版印刷技術により、東京を中心に日刊新聞が創刊された。
- ④ 洋服が急速に流入し、人々が和服を着ることはなくなった。

問7 下線部⑥に関連して、1920年代から1930年代にかけての人々の都市生活や文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 和洋折衷の建築である、郊外の文化住宅が人気となった。
- ② ラジオ放送が開始され、満州事変を機に契約数を増やした。
- ③ 『キング』などの大衆娯楽雑誌が創刊され、発行部数を伸ばした。
- ④ 松本清張や司馬遼太郎の小説が、サラリーマンに人気となった。

問8 下線部⑤に関連して、第二次世界大戦後の農業や農業行政について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

- Ⅰ 農村からの人口流出が激しくなるなかで、農業の近代化と構造改善をめざす農業基本法が定められた。
- Ⅱ 農地改革が行われ、農家の大半が零細な自作農となった。
- Ⅲ 高度経済成長が始まった頃、農業生産の向上によって米の自給が可能となった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

第2問 古代の政治の世界で活躍した女性に関する A～C の文章を読み、次の問い(問1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 皇極天皇は、594年に推古天皇の夫である敏達天皇の孫、茅渟王^{ちぬ}の娘として生まれた。名は宝女王(たからのひめみこ)と伝えられる。①推古天皇が亡くなり、田村皇子が即位して舒明天皇となると、630年に皇后となった。舒明天皇が亡くなると、適当な皇子がおらず、皇后であった彼女が即位して皇極天皇となった。

大陸では唐が成立し、朝鮮半島の諸国では政変があいついだなか、蘇我蝦夷・入鹿の父子が次第に専横を極めたが、②中大兄皇子を中心とするクーデタにより蘇我本宗家は滅んだ。この事件をきっかけに彼女は譲位し、新たに即位した ア 天皇のもとで政治改革が始まった。ア 天皇の死後、彼女が再び即位して斉明天皇となった。東アジア情勢が混乱するなか、彼女は内政面では天皇の権威を示す大規模な事業を行い、対外的には イ を救うための救援軍を派遣するため九州に赴き、筑紫朝倉宮でおよそ70年の生涯を閉じた。

問1 空欄 ア ・ イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- | | | |
|---|------|-------|
| ① | アー崇峻 | イー百済 |
| ② | アー崇峻 | イー高句麗 |
| ③ | アー孝徳 | イー百済 |
| ④ | アー孝徳 | イー高句麗 |

問2 下線部⑤に関連して、次の史料は推古天皇の時代に定められた法令の一部である。これについて述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

一に曰く、和を以て貴しと為し、忤ふること無きを宗と為よ。人皆党有り、亦達れる者少し。是を以て或は君父に順はず、乍た隣里に違ふ。然れども、上和らぎ下睦びて、事を論ふに諧ひぬるときには、則ち事理自ら通ふ。何事か成らざらむ。

二に曰く、篤く三宝を敬へ。三宝は（仏・法・僧なり。）則ち四生の終の歸、万国の極宗なり。何れの世、何れの人か、是の法を貴ばざる。人尤悪しきもの鮮し。能く教ふれば従ふ。其れ三宝に歸りまつらずは、何を以てか枉れるを直さむ。

三に曰く、詔を承りては必ず謹め。君をば則ち天とす、臣をば則ち地とす。天覆ひの地載せて、四時順り行き、万氣通ふことを得。地、天を覆はむと欲するときは、則ち壊るることを致さむのみ。……

- ① この法令は『続日本紀』に載せられている。
- ② この法令の作成には厩戸王が関与した。
- ③ この法令には官吏としての心構えが述べられている。
- ④ この法令には仏教を重んじることが述べられている。

問3 下線部⑥に関連して、この事件について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

Ⅰ 中大兄皇子ははじめ吉野に逃れ、東国や地方豪族の協力を得て勝利した。

Ⅱ 事件には中臣鎌足が協力し、中臣鎌足は事件後に内臣となった。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

B 光明子は藤原不比等と県犬養橘三千代の間に生まれ、名は安宿媛（あすかべひめ）、通称は光明子といった。母の県犬養橘三千代は長く天皇の後宮に仕えてその功績を認められ、橘姓を与えられた。

光明子は同じ年に生まれた皇太子である首皇子に嫁いだ。724年、首皇子は元正天皇の譲位を受けて即位して聖武天皇となった。㉓長屋王の変ののち、光明子は皇族以外で初めて皇后となり、皇后の家政機関である皇后宮職を設けた。光明子は仏教への信仰が厚く、藤原氏の氏寺である興福寺の発展や、孤児や病人を救済するための悲田院、施薬院の設置に寄与し、また皇后宮職では写経や造寺も行われた。

聖武天皇から譲位された娘の孝謙天皇が即位すると、光明皇后は光明皇太后となり、皇后宮職は紫微中台に改編され、より大きな権限を持った。この紫微中台を足がかりに、藤原仲麻呂が台頭し、淳仁天皇とともに孝謙太上天皇と対立したが、光明皇太后が760年に亡くなると、権力基盤を失った藤原仲麻呂は滅ぼされた。㉔光明皇太后は聖武太上天皇遺愛の品々を東大寺に寄進し、これらは正倉院宝物として今日まで伝わっている。

問4 下線部㉓に関連して、この事件について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 不比等の子の四兄弟が長屋王に謀叛の疑いをかけた。
- ② 長屋王は玄昉・吉備真備の排除を求めている。
- ③ この事件の直後に、聖武天皇は国分寺建立の詔を出した。
- ④ この事件の直後に、聖武天皇は恭仁京へ遷都した。

問5 下線部㉔に関連して、正倉院宝物や東大寺について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 正倉院宝物には、中国や朝鮮半島の影響はみられない。
- ② 正倉院宝物の多くは戦火で失われ、わずかに数点が現存しているだけである。
- ③ 紫香楽宮で出された大仏造立の詔により、東大寺に大仏が造立された。
- ④ 東大寺は、唐より招かれた鑑真が創建したものである。

C 藤原彰子は 988 年、藤原道長の長女として誕生した。彼女が誕生する 2 年前に、花山天皇が退位して一条天皇が 7 歳で即位した。この頃、摂関の地位をめぐる藤原氏 内部の抗争は激化しており、道長も兄や兄の子らと対立していた。彰子が一条天皇の中宮となった頃、道長は姉の詮子の後見により左大臣に就いており、道長と争っていた藤原伊周や藤原隆家らは失脚していた。一条天皇には伊周らの妹で、『枕草子』を著した が仕えたことで知られる定子が皇后となっていたため、彰子の入内は異例のことであった。

その後、彰子是一条天皇との間に 2 人の男児をもうけ、それぞれ後一条天皇、後朱雀天皇となった。一条天皇の死後には、幼い天皇らを彰子が後見して支えた。両天皇の死後も、彰子は天皇家および摂関家の家長の立場に立ち、その後の天皇の後見を行った。さらには実質的に朝廷の人事権を行使して、円滑な皇位継承と、道長亡き後の摂関家による権力掌握を擁護し続けた。彰子の実績は朝廷における吉例とされ、[㊦] 白河上皇に始まる院政も、彰子の政治を継承したものと評価する研究もある。

問 6 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|--------|--------|
| ① ウー北家 | エー紫式部 |
| ② ウー北家 | エー清少納言 |
| ③ ウー式家 | エー紫式部 |
| ④ ウー式家 | エー清少納言 |

問 7 下線部㊦に関連して、院政や院政期の文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 白河天皇は、子の堀河天皇に譲位した。
- ② 鳥羽上皇は今様を好み、『梁塵秘抄』を編んだ。
- ③ 上皇たちは、しばしば熊野三山や高野山に参詣した。
- ④ 白河上皇は院の警備を行う北面の武士を置いた。

第3問 中世の対馬・壱岐や中国・朝鮮半島との通交に関するA・Bの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 古来、㉓日本と朝鮮半島の国々との交易は活発であった。対馬や壱岐はその橋渡しとしての役割があった。

境界に位置する地域は、平時においては㉔貿易や交流などで人々が行き交い、豊かさを享受できるが、しばしば国際紛争の影響を受けて大きな損害を被ることもある。チンギス＝ハンがモンゴルを統一したのち、各地の征服を始め、中国北東部では金が滅ぼされるなど、モンゴルの支配の手が及んだ。チンギス＝ハンの孫にあたるフビライ＝ハンは高麗を服属させ、さらに南宋を攻めた。こうした国際情勢の中、㉕鎌倉幕府の8代執権であった北条時宗はフビライ＝ハンの国書を拒絶し、このため日本は侵攻を受けた。その際、対馬や壱岐は、はじめに攻略され、住民の間におびただしい被害を出す結果となった。

問1 下線部㉓に関連して、古代の朝鮮半島やその周辺国と日本との関わりについて述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

- Ⅰ 刀伊とよばれた女真人が朝鮮半島経由で日本に襲来したが、藤原隆家が撃退した。
- Ⅱ 新羅が滅び、高麗が朝鮮半島を統一した。
- Ⅲ 渤海が日本に使節を派遣して国交を求め、日本と通交した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問2 下線部㉔に関連して、中世初めの貿易や交流について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 平清盛は大輪田泊を修築し、日宋貿易を推進した。
- ② 日本から宋へは、硫黄や金が輸出された。
- ③ 宋へ渡った栄西は帰国後、曹洞宗を開いた。
- ④ 宋から来日した蘭溪道隆は北条時頼の帰依を受け、建長寺を開いた。

問3 下線部㉔に関連して、蒙古襲来（元寇）と、その影響について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 2度目の日本遠征ののち、高麗で三別抄の乱が起こった。
- ② 日本軍の火薬や集団戦法に苦しめられ、元軍は撤退した。
- ③ 蒙古襲来後、九州の博多に鎮西探題が置かれた。
- ④ 蒙古襲来後ただちに、北条時宗が永仁の徳政令を発した。

B 蒙古襲来（元寇）ののちも、④大陸や朝鮮半島との交易は行われていたが、貿易が不調となると、一部は海賊となって朝鮮半島の沿岸などを襲い、食料を奪ったり、住民を捕虜にしたりした。こうした海賊行為を行う人々を倭寇といった。

モンゴルを北方に追い、新たに誕生したアや高麗は、日本に対して倭寇の取り締まりを要求したが、日本は⑤南北朝の動乱の最中にあつたため、十分な対策は行われなかった。その後、室町幕府の足利義満は、倭寇禁圧を条件にアと国交を開いた。朝鮮半島では、高麗ののちにイが朝鮮を建てた。朝鮮と日本との間でも国交が開かれ、⑥貿易が開始された。この貿易は、朝鮮側が倭寇の本拠地として対馬を攻撃した応永の外寇により一時中断したが、すぐに回復し、その後も継続した。

問4 空欄ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① アー清 イー李舜臣
- ② アー清 イー李成桂
- ③ アー明 イー李舜臣
- ④ アー明 イー李成桂

問5 下線部④に関連して、室町幕府は夢窓疎石の勧めに従って後醍醐天皇の冥福を祈る寺院を建立するために、貿易船を派遣して、その利益をもとに寺院を造営した。夢窓疎石が作庭したことでも知られるこの寺院の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 天龍寺 ② 円覚寺 ③ 相国寺 ④ 大徳寺

問6 下線部⑤に関連して、南北朝の動乱とその影響について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 足利尊氏と執事の高師直が対立する観応の擾乱が起こり、動乱が長期化した。
- ② 北朝の今川了俊（貞世）を南朝の懷良親王が破り、九州の北朝の勢力が衰えた。
- ③ 武家社会内部では、次第に血縁的結合より地縁的結合が重視されるようになった。
- ④ 守護が年貢の徴収・納入を請け負う、地下請が広く行われるようになった。

問7 下線部⑥に関連して、日朝貿易について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 貿易は日本に建てられた倭館で行われた。
- ② 朝鮮から木綿や大蔵経などが輸入された。
- ③ 貿易には勘合の持参が義務付けられた。
- ④ 貿易は寧波の乱をきっかけに衰退した。

第4問 近世の動物と為政者の関わりに関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 尾張の□ア□は^{たかがり}大の鷹狩好きとして知られる。鷹狩とは、鷹などの猛禽類を用いて小動物を狩る狩猟法で、『日本書紀』によると仁徳天皇の頃より行われていたとされる。

鷹狩には、^{たか}鷹場とよばれる訓練場や、^{せこ}鳥獣を追い立てる勢子が必要となる。また、鷹を扱う専門の^{たかじょう}鷹匠も必要とされる。鷹狩には多額の出費が必要とされたが、領主は鷹狩を通じて自己の領内を巡検することができ、領民に対しても、大空を飛ぶ鷹の姿を見せることで、領主の権威を示す効果があったとされる。

鷹狩は、他の^a戦国大名も愛好していた。^b徳川家康は鷹狩を許可制にして独占したため、鷹狩は徳川家の権威の象徴となった。のちに鷹狩は、□イ□で定められた参勤交代で江戸在府中の大名にも許され、家格に応じて将軍に鷹狩の獲物が献上された。

問1 空欄□ア□・□イ□に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 □23□

- ① アー織田信長 イー一国一城令
- ② アー織田信長 イー武家諸法度
- ③ アー武田信玄 イー一国一城令
- ④ アー武田信玄 イー武家諸法度

問2 下線部^aに関連して、戦国時代の大名について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 □24□

- ① 大友義鎮らのキリシタン大名が、支倉常長をローマに派遣した。
- ② 今川氏の「塵芥集」など、分国法を定める大名もあった。
- ③ 家臣の収入額を貫高で表し、軍役などの負担の基準とした。
- ④ 検地奉行を直接現地に派遣して測量する、太閤検地が一般的であった。

問3 下線部⑥に関連して、徳川家康について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 豊臣秀吉の死後、豊臣秀頼を征夷大將軍とした。
- ② 豊臣政権では、五大老の筆頭となった。
- ③ 方広寺鐘銘問題をきっかけに、関ヶ原の戦いを起こした。
- ④ 関ヶ原の戦い後、東軍の諸大名を改易した。

B 5代将軍徳川綱吉は、「犬公方」の名前でも知られる。綱吉は、「生類憐みの令」とよばれる動物愛護政策を行った。江戸時代、犬は番犬や愛玩動物のほか、狩猟などの用途で飼育されたが、いっぽうで野犬もいた。こうした野犬をめぐる、江戸幕府が法令を出すこともあったが、特に^㉓綱吉の時代の法令は際立っていた。

綱吉は、犬の虐待・殺生の禁止はもちろん、飼育されている犬を調べて帳面を作成し、犬の売買を禁止し、病気の犬を治療し、さらに犬小屋を設けて野犬を収容して、餌を与えるなどの措置をとった。この政策は、庶民の生活に大きな影響を与え、綱吉の評価を下げるようになった。^㉔綱吉の死後、この政策は見直された。

問4 下線部^㉓に関連して、綱吉の時代に行われた政策について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

Ⅰ 勘定吟味役の柳沢吉保の建議により、従来のものより品位の劣る元禄小判が鑄造された。

Ⅱ 綱吉は朱子学を重視し、林羅山を大学頭に任じて、湯島聖堂を建てた。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問5 下線部^㉔に関連して、綱吉の死後の「正徳の政治」で行われた政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① 新たな宮家である、閑院宮家を創設した。

② 末期養子の禁止を緩和し、牢人増加の防止を図った。

③ 南鐐二朱銀を発行し、金銀貨幣の一本化を図った。

④ 関東の治安維持を強化するため、関東取締出役を設けた。

C 1728 年、「享保の象」が長崎に上陸した。これは、㉔将軍徳川吉宗の命令によって、中国船が長崎にもたらしたオスメス一対のアジアゾウであった。メスの象はまもなく死んでしまったが、オスの象は翌年の5月江戸将軍家に献上された。

この象の㉕江戸下向に際しては幕府より宿駅ごとに厳しい通達が出され、見物の規制や飼料・飲料水の注意など多くの注意点が細部にわたって指示された。象の情報は大変な評判となり、様々な記録に書き留められた。象は吉宗が見物したのちに江戸市内の浜御殿で飼われ、最後は民間に払い下げられた。

問6 下線部㉔に関連して、徳川吉宗の政治について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 大名に石高に応じて上げ米を命じ、見返りに参勤交代を一切免除した。
- ② 足高の制を定めて役職の基準高に満たない石高を補い、有能な人材を登用した。
- ③ 評定所に目安箱を設け、その中の意見をとり入れて石川島に人足寄場を設置した。
- ④ 渋川春海や北村季吟にオランダ語を習わせて、蘭学発展の基礎を築いた。

問7 下線部㉕に関連して、街道の宿駅に設置されていない施設を、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 旅籠屋 ② 本陣 ③ 蔵屋敷 ④ 問屋場

第5問 近現代の教育に関する A・B の文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 廃藩置県の際に中央集権的な政策が可能となった政府は、[Ⓐ]様々な改革に着手した。その一つが教育政策であった。すでに江戸時代から「読み・書き・そろばん」や、女子の裁縫などの日常生活に役立つ知識や技能が民衆の間で学ばれていたが、政府がめざした教育は、こうした民衆の生活に根ざした知識ではなく、西洋の学問の初等内容を伝授するものであった。しかし、学費は自己負担であったため、民衆の間には子弟を学校に通わせない家庭も少なくなかった。

伊藤博文のもと、[Ⓑ]立憲体制が確立されたなかで、近代的学校制度が確立していった。義務教育費は[Ⓒ]日清戦争後に実質的に国庫負担となり、これにより男女とも就学率が9割を超えた。

問1 下線部[Ⓐ]に関連して、明治初期の改革や諸政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 貨幣法を定め、円・銭・厘の単位を採用した。
- ② 華族令を定め、華族と士族の特権を保護した。
- ③ 国立銀行条例を定め、国立銀行に兌換銀行券を発行させた。
- ④ 屯田兵制度を設け、琉球に屯田兵を置いた。

問2 下線部[Ⓑ]に関連して、憲法制定の過程について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- Ⅰ 開拓使官有物払下げ事件による政府への批判が強まる中、国会開設の勅諭が出された。
- Ⅱ 伊藤博文が渡欧して、シュタインやグナイストにドイツ流の憲法理論を学んだ。
- Ⅲ ロエスレルの助言で作成された憲法草案が、天皇臨席のもと、枢密院で審議された。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

問3 下線部㉔に関連して、日清戦争後に結成された政党について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 板垣退助を中心に、自由党が結成された。
- ② 福地源一郎を中心に、立憲帝政党が結成された。
- ③ 大隈重信を中心に、立憲改進黨が結成された。
- ④ 伊藤博文を中心に、立憲政友会が結成された。

B 明治時代の中頃に確立された近代的な学校制度のもと、政府は中学校や高等女学校などの中等教育を拡充し、大正時代になると公立大学や私立大学を認可する ア を定め、高等教育の機会を増やして国民の教育への要求にこたえた。④ 大正デモクラシーの風潮のもとで、大学では比較的自由的な雰囲気が形成され、日本独自の研究成果も出されるようになった。しかし、満州事変以後は⑤ 政府の弾圧も強まり、次第に大学や学問から自由が失われていくことになった。

戦後の改革のなかで、教育の民主化がめざされた。イ が定められ、男女共学の原則、教育の機会均等などの理念が示された。複雑であった学校制度も一本化され、公選制の教育委員会が設置された。さらに教育だけでなく、⑥ 民主主義を実現するために必要な改革がなされていった。教育はいわば鏡として、それぞれの時代を反映し続けた。

問4 空欄 ア ・ イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- | | | |
|---|-------|---------|
| ① | アー教育令 | イー教育基本法 |
| ② | アー教育令 | イー国民学校令 |
| ③ | アー大学令 | イー教育基本法 |
| ④ | アー大学令 | イー国民学校令 |

問5 下線部④に関連して、大正デモクラシーや大正時代の学問について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 吉野作造が、総合雑誌『中央公論』に論文を発表し、民本主義を主張した。
- ② 平塚らいてうらが、新婦人協会を設立し、女性の政治参加を求めた。
- ③ 西田幾多郎が、各地の農村を歩いて伝承や民俗を収集し、民俗学を確立した。
- ④ 津田左右吉が『日本書紀』などについて研究し、古代史を科学的に分析した。

問6 下線部㉔に関連して、学問に対する政府の弾圧について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

Ⅰ 自由主義的な刑法学説をとなえた滝川幸辰が休職処分となった。

Ⅱ 幸徳秋水らが検挙された、人民戦線事件が起こった。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問7 下線部㉕に関連して、戦後改革や戦後政治について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

① すべての満25歳以上の男性に、納税額の制限なく選挙権が与えられた。

② 独占禁止法が定められ、企業間のカルテルやトラストが奨励された。

③ プレス＝コードにより、天皇や政府に対する批判は一切禁止された。

④ GHQが日本政府に対して指令や勧告を出す、間接統治の方法がとられた。

(日本史の問題は終わり)